村上の国有林における取組

―令和6年度―

下越森林管理署
村上支署

■令和6年度岩船地域民国連携推進会議
■林業の低コスト化・効率化(現地検討会等の開催)
■国民参加の森づくりについて(社会貢献の森)
■民国連携森林整備推進協定運営会議

■令和6年度岩船地域民国連携推進会議

【目的】

新潟県(村上地域振興局)、村上市、関川村と事業実行がスムーズに進むように意見交換を行います。

【内容】

この会議は毎年4月に開催され、新潟県(村上地域振興局)、村上市、関川村と当年度事業に係わる情報交換を行っています。本会議では関東森林管理局作成の市町村支援ツールを紹介するほか、現地検討会等の連携実施に向けた呼びかけを行い、年間計画を決定します。また、ニホンジカの生息状況や獣害対策についても情報の交換を行っています。

【成果】

この会議において村上支署と村上地域振興局で連携した現地検討会等を開催することを決定し、「令和6年度低コスト再造林現地研修会」(村上地域振興局主催)、「令和6年度高性能林業機械による伐出作業の効率化現地検討会」(村上支署主催)を実施し、相互において講演等を行いました。

【今後】

今後も本会議を継続開催し、連携可能な事業がないか呼びかけていきたいと考えております。

■林業の低コスト化・効率化(現地検討会等の開催)

【目的】

林業の成長産業化の実現に貢献するための取り組みとして、新潟県と連携し、現地検討会等の開催を通じて低コスト化・効率化に資する施業技術について、事業レベルでの検討・実証に取り組みます。

【令和6年10月25日 高性能林業機械による伐出作業の効率化現地検討会(下越森林管理署村上支署)】

【令和6年10月24日 低コスト再造林研修会】
(新潟県村上地域振興局)

【内容】

令和6年度高性能林業機械による伐出作業の効率化現地検討会(令和6年10月25日開催)

素材生産の低コスト化について、ハーベスタ(新機種)による伐木造材作業の実演(従来機種との比較)により、伐採及び造材作業の効率化について検証したほか、村上地域振興局から、新潟県における高性能林業機械の導入支援について説明を行いました。

令和6年度低コスト再造林現地研修会(令和6年10月24日開催)

村上地域振興局主催により、植栽作業のコスト低減や苗木生産の効率化が期待できるコンテナ苗の普及のため、コンテナ苗の使用による造林作業の効率化と労働負荷の軽減、植栽時期の分散等について検討し、意見交換を行いました。また、下越森林管理署村上支署による国有林における低コスト再造林及び一貫作業システムについて説明を行いました。

【成果】

新潟県と連携し双方で現地検討会等を開催、参加することにより、より多くの林業事業体や各関係機関との意見交換が可能となり、林業の低コスト化・効率化の取組について発信することができました。また、低コスト再造林現地研修会では、他業種からの新規参入者が呼びかけに応じ、興味をもって参加されたことは事業者の拡大につながり一定の成果があったと考えています。

【使用したハーベスタ】

【電子輪尺を用いたセンサ校正】

【コンテナ苗植栽実習】

【今後】

今後も新潟県(村上地域振興局)と連携し、検討会等を継続的に開催するとともに、他の関係機関に対しても連携し行なえる事業がないかを呼び掛けしたいと考えております。

■国民参加の森づくりについて(社会貢献の森)

【目的】

村上市と連携し、三面川流域を「さけの森林」として整備・保全を促進し、村上市の伝統文化を後世に引き継ぐ活動に協力するとともに、各イベント等を通じて森林整備や森林の保全の必要性など環境教育に役立てることを目的としています。

【令和4年8月1日協定調印式】

【令和6年10月27日森林整備イベント】

【内容】

令和6年10月27日に「さけの森林づくり活動」が開催され、朝日みどりの少年団や村上市の交流都市である東京都荒川区からの参加者により、ナラ、ヤマザクラ、クリ、トチの植栽を行いました。本イベントに当たっては村上支署職員も講師として参加し、植樹のほか炭焼の説明や薪割・間伐・枝打体験等を実施しました。

【成果】

新たな「さけの森林」として活動場所を移し3回目となり、徐々に参加人数が増え、令和6年度は79名の参加となりました。中には2年連続で参加された家族も見られ、人気のイベントとなり盛り上がりを見せています。

しかし、参加者数が増える一方で、全てのプログラムを実施するには時間やスタッフの数が足りないなど課題も見えてきました。

【参加者による苗の植樹】

【薪割体験】

【枝打ち体験】

【今後】

今後は、より多くの方が参加し、全てのプログラムを体験いただけるよう、村上市と連携、協力し、実施して行きたいと考えています。

■民国連携森林整備推進協定運営会議

【目的】

民国の連携により、共同施業団地（関川村内須川地区、村上市笹平地区）を設定し、協定を結んでいます。この会議では、森林・林業の再生に向け、森林の多面的機能の高度発揮と資源の循環利用を図るため、協定者間で連携・協力し、地域林業の活性化に向けて取り組んでいます。あわせて、民有林と国有林で森林共同施業団地の設定を推進し、合理的な路網の整備、効率的な森林施業の実施及び、地域材の安定供給に取り組むことを目的としています。

【令和7年3月4日　民国連携森林整備推進協定運営会議】

【内容】

令和7年3月4日に令和6年度の民国連携森林整備推進協定運営会議を開催し、現在の協定有効期間が満了となることから、協定の延長に伴う各種事業量について協議したほか、令和6年度の事業計画実績について各協定者より報告がありました。

【成果】

この会議により、今後も民国連携による路網整備など効率的な森林施業を推進・継続する必要があることを協定者間で確認し、協定の延長（令和7年4月1日～令和12年3月31日まで）を決定し、令和7年3月24日に協定を締結しました。

【今後】

今後も、民国連携した取組による効率的な森林整備の推進、林産物の安定供給のほか、継続的に施業を行うことによる林業事業体の育成（次世代の育成）や地域材の需要拡大、地域住民への普及啓発を行っていきます。